

吉野おげんきかい（鹿児島県）

活動地域の紹介

鹿児島からやってまいりました永山です。どうぞよろしくお願ひいたします。

私たちの住むところは、鹿児島市北部に位置し、標高約230メートルの高台にあります。夏は涼しく、冬は雪が多いところで、少し雪が降ると積もって下町に下りられないというような状況もあります。市街地から車で約15~20分と交通の便が良く、また、平成5年の8・6水害以降、災害のない街として多くの人が移り住むようになり、鹿児島市のベッドタウンとして吉野地域はどんどん発展しています。



私たちが活動をする範囲は、校区や町内会単位ではなく、基本的にNPOとしてやっているものですから、吉野支所管内、吉野交番管内、人口4万6,000人余り、そして世帯数が1万7,000余りという大きな範囲です。

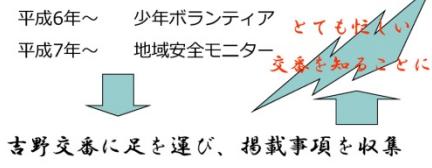
発足経緯

私は、平成4年に小学校PTAの広報部長を務め、広報紙の醍醐味を味わって、これから住むだろうこの地をもっと知りたいと思い、「マイタウンよしの」というミニコミ誌の発行を平成5年から始めました。それを延々と10年間続けるのですが、その中で背表紙に行政の情報掲載を始めました。吉野交番の情報も載せました。そうすると交番に足を運ぶ回数が多くなり、地域の様々な組織とも関り合いを持つようになって、アンテナを高くして情報を集めるようになりました。そんな中、交番に足を運ぶたびに交番の日常を垣間見るようになりました。人口4万6,000人を守る交番として当初は9人ぐらいだったと思いますが、本当に忙しい交番で、事件・事故の発生件数がどんなに多いのか、そして交番にあまり関係のないようなことまで対応している。「えっ、そんなことまでお巡りさんがするの。お巡りさん、大変ね。」と。それと吉野の番地は、家ができたところの順につけられたようで、住居の表示がとても入り組んでおり、交番を訪れる人が多い。これも「大変だよね。」と思いました。ミニコミ誌の発行を10年間続けて、そういう忙しい交番の状況も色々と知るようになるのですが、ちょうど地域安全モニターをやっていたこともあって、「吉野には空き巣が多いんだよ、永山さん。」と言って警察署の生活安全課の警察

平成5年からミニコミ紙（地域情報紙）を発行
背表紙に行政の情報を掲載・・・吉野交番の情報も

- アンテナを高くしていきたいと・・・

地域の様々な組織に関わりを持つようになる。



吉野おげんきかい

3

吉野には空き巣が多い!
NPO法人の活動に地域安全活動を

- 私たち住民に、できることは? こんなことだったら、できるかな?

- 犯罪抑止力となるだろうパトロール
- 地域のコミュニティとなる声かけ
- 防犯・防災・交通安全の啓発の学習・広報
- 福祉や各関係機関とのネットワーク

吉野おげんきかい

5

官とお話をすることがありました。では私たちで何とかできないのか。それぞれが町内会・組織で活動はやっているのだけれども、「安全のこういうことはどこもなかなかやっていないよね。」と考えるようになり、NPO 法人を立上げるとともに、その活動に生活安全、地域安全活動の防犯活動も取り入れようと考えました。「まず、パトロールができないだろうか。また、地域のコミュニティとなる声掛けができるだろうか。防犯・防災・交通安全の啓発の学習・広報も地域住民としてできないだろうか。そして福祉やその他関係機関とのネットワークがとれないだろうか。」と考え、町内会などにもお話をしましたが、「この指と一まれ。」でとまるかと思いましたら、なかなかとまりませんでした。「活動中に事故に遭ったらどうするの。会の名前は。活動資金はどうするの。体制はどうしていくの。」また、「運営はどうするの。誰が防犯的な車を出すの。」と問題は山積みの中、民生委員さん、町内会等から代表を6人選出していただいて、半年間にわたって運営準備を進めました。そして名前は「吉野おげんきかい」と命名して、活動範囲は、私がミニコミ誌をつくっていた吉野地域とその周辺地域とし、私たちのNPO が事務局となって活動を進めることにしました。ただし、参加する人は、会長以下すべて地域住民、あるいは事業所等にやっていただいたらどうかというところで、組織機構図をつくりました。

自主防犯組織の立上げ時の要素

- ①事故に遭ったらどうするのか？
 - ②会の名称は？
 - ③活動資金は？
 - ④体制は？
 - ⑤運営は？
 - ⑥誰が車を出すの？
- 「吉野おげんきかい」と命名。
吉野地域及びその周辺地域を活動範囲に
- よしのねぎぼうずが事務局に

吉野おげんきかい

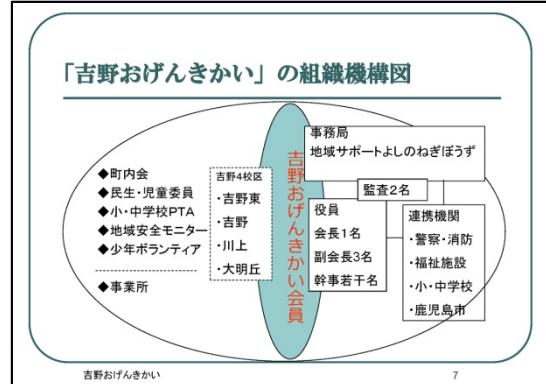
6

組織構成と団体の方針

私たち「吉野おげんきかい」の会員は、町内会や民生委員、児童委員、あるいは小・中学校PTA、地域安全モニター、少年ボランティアで構成されています。さらに、これは私が鹿児島市の安心安全の条例をつくるときにも申し上げたことですが、地域には事業所が結構ありますので、事業所もやはり地域の一員として参加していただいたほうが良いのではないだろうかと、事業所も会員に取り込みました。事務局は私たちがやるということで、役員は地域の皆さん方、そして連携機関は警察、消防、福祉施設、小・中学校、鹿児島市としました。平成17年4月8日、設立総会をしました。ちょうど鹿児島市に安心安全課ができた年でした。その後、総会をするたびに、鹿児島市の安心安全課、そして鹿児島中央署にも参加をいただいている。会の規約もつくり、平成 17 年時には防犯だけでしたが、活動するうちに皆の意識が芽生え、平成 18 年には「防災もあった方が良いのではないか。」と防災を加え、平成 19 年には、「吉野には交通事故が多いから交通安全も加えよう。」ということで、規約も改正を重ねていきました。

活動が軌道に乗るまでの2~3年間、会員の勉強会もやり、会員の意識を高めました。「私たちの地域は私たちで守ろう。」と、交番管内を主にして「そういう風をつくる行こうよ。文化をつくりだして行こうよ。」と、自主防犯の意識を育てることとコミュニティの形成、そして地域福祉の一端を担うという

「吉野おげんきかい」の組織機構図



ことです。「皆さん、お元気ですか。」と声を掛け合える仲間をいっぱい増やしていくことにもなるんだろうと思思います。

活動内容

現在は、地域の自主防犯組織のネットワーク化を図る拠点として、吉野地域における 24 団体の防犯組織との連携・共生、行政機関との連携強化ということで動いています。

青バト隊の結成を平成 17 年 8 月に行い、現在は朝の6時半から夜の 10 時までのうち、自分たちが巡回できる時間帯に1日に3班編成し、パトロールを行っています。

また、昨年から小学校に出向いて、安心安全活動体の紹介をしています。今年は6月 11 日に小学校に行くことになっています。そして、これも昨年から始めましたが、中学生の万引き、自転車盗難などが多いという話を聞いて、私たちの団体も何か子どもたちに啓発できないだろうかと考え、1学期の終業式に中学校に出かけて非行防止の呼び掛けをしました。校長先生から、「おかげさまで夏休みには非行が少なかったです。」というお話を聞いて、本当に良かったなと思っています。今年もまた計画していきたいと思っています。

次に小・中学校との情報交換会についてですが、これは立ち上げ時からずっとやってきたことです。「自分たちが子どもたちに声掛けをしていくのは、どうやつたらいいの。」という会員の不安な声があつて始めたのですが、今では学校との情報共有の場として重要なものとなっています。

夏休み前に中学生に非行防止の呼びかけ

1 学期終業式の時間に伺い、
2 中学校に非行防止の
呼びかけ

吉野おげんきかい 13

「吉野おげんきかい」の活動内容

青バト実施者講習会

青バト隊の結成(平成17年8月)

- 6：30～22：00まで、巡回できる時間に青バト隊・徒步バト隊を編成してバトルール

現在は、月曜日から金曜日まで毎日3グループバトロール

4月現在 青色回転灯 1台 青バト実施者40名
個人会員 40名 協力会員 13団体
特別協力会員 12団体

吉野おげんきかい 11

吉野・川上地域小学校・中学校情報交換会

・パトロール中の子どもたちへの声かけが課題連携機関を招いて学習

「学校の子どもたちの情報を直接聞こうよ」

毎年8月末には、吉野各小・中学校の先生方を招いて、現状と子どもたちへの声かけのしかたなどを学習

吉野おげんきかい 14

年末年始は、吉野の全防犯団体に声を掛けて、吉野交番と連携して年末年始の合同パトロールを行っています。これには PTA なども参加しますが、PTA の皆さんのがおっしゃいます。「こんなにも地域の人たちに見守られてるんですね。私たちは本当にありがとうございます。」と。

「いかのっち防犯教室」は3年前から始めました。新しく小学校に入学する子どもたちに「『いかのおすし』を教える防犯教室を開催したらどうか。」と考え、おげんきかいが費用を拠出して行っています。

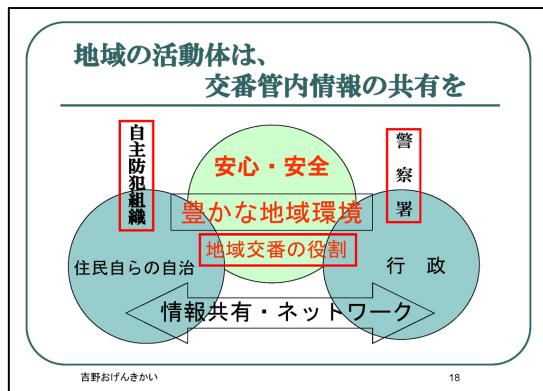
また、私たちの活動は、子どもから高齢者までということですので、高齢者の方々に対する交通安全

教室も行っています。地域の自動車学校に協力を求めて、鹿児島中央署の交通課の方にも出向いていただいて、実際に自動車学校をお借りして講習を行っています。



今後の活動目標

最後になりますが、「地域の活動体は、交番管内情報の共有を」と書きました。地域には色々な組織・団体や町内会、校区などがあります。鹿児島市からは、校区安心・安全ネットワーク会議もそれぞれ立ち上げるように進められていますが、その核になるのは、やはり地域の交番ではないかと思います。交番や市の安心安全課とも連携を図りながら情報を共有することで、それぞれの活動体が動いて行くものだと思いますので、これからも情報共有の拠点となる存在でありたいと思っています。また、地域の安全安心の大きな力を育んでいると私たちは思っています。これからも地域の安心安全のために頑張ってまいりたいと思います。



質疑応答

●質問 小学生と幼稚園児の入学の前に「いかのっち防犯教室」をするそうですが、「いかのっち」というのはどういう意味ですか。

○回答 「いかのおすし」を教える防犯教室ということです。「いかのおすし」は不審者への対応要領として、子どもたちに覚えやすいようにしたもので「ついて行かない。」等の箇条のものが交番などにあると思います。

●質問 高齢者の交通安全教室を行っているということですが、交通ルールなどを教育するのでしょうか。私はよく散歩をしますが、交通ルールを守らない人がいます。これは若い人、老人、どちらにも結構多いのですが、信号無視をしたり、色々なことがあります。そういうことも一応教育されているのでしょうか。

○回答 交通安全教室につきましては、警察署の交通課の警察官に来てもらい、まず机上の学習をし

ます。高齢者が交通事故を起こす原因、交通事故の状況をお話していただき、その後、自動車学校の教官から実地教習を受けます。皆さんそれぞれに教官から、「あなたはこうでしたね。」という具体的な指導を受けています。